



RaQualia  
innovators for life

ラクオリア創薬株式会社

# 決算説明会

2021年12月期 第1四半期



- ◆ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forwardlooking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ◆ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品(研究開発プログラムおよび化合物)に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- ◆ 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。



RaQualia  
innovators for life

ラクオリア創薬株式会社

# 決算説明会

2021年12月期 第1四半期



1. 今期のビジネスハイライト
2. 第1四半期業績
3. R&Dハイライト
4. パイプライン
5. 今年度の見通し
6. 資金調達状況
7. 今後のイベント
8. 当社株式の猶予期間入りについて



### ライセンス

#### ✓ P2X7受容体拮抗薬のライセンス契約締結に伴う一時金受領

- 旭化成ファーマ社とイーライ・リリー社との間でP2X7受容体拮抗薬（AK1780/RQ-00466479）に関するライセンス契約を締結
- 旭化成ファーマ社からのマイルストーン受領
- 疼痛治療薬として開発見込み

### 臨床開発

#### 胃食道逆流症治療薬tegoprazanの中国で新薬承認申請受理

- 2021年1月にLuoxin社が中国当局に新薬承認申請を行い、申請受理通知を取得
- 2022年第1四半期に中国市場に「K-CAB®錠」を発売見込み

#### ✓ 選択的ナトリウムチャンネル遮断薬のマイルストーン達成に伴う一時金受領

- マルホ社へ導出した選択的ナトリウムチャンネル遮断薬の開発が順調に進む
- あらかじめ定めていたマイルストーンを達成

### 上市品

#### 動物薬2剤の販売好調

- 販売ロイヤルティ GALLIPRANT®及びENTYCE® 前年同期比56.2%増
- 今期は、新型コロナウイルス感染症の影響が軽微

### 子会社

#### バイオマーカーライセンス契約締結と第III相臨床試験開始

- シロス社とバイオマーカーライセンス契約締結
- シロス社が高リスクMDSを適応とするタミバロテンとアザシチジンとの併用第III相臨床試験開始



### 2021年12月期 第1四半期

事業収益

655 百万円

営業利益

149 百万円

経常利益

268 百万円

四半期純利益

188 百万円

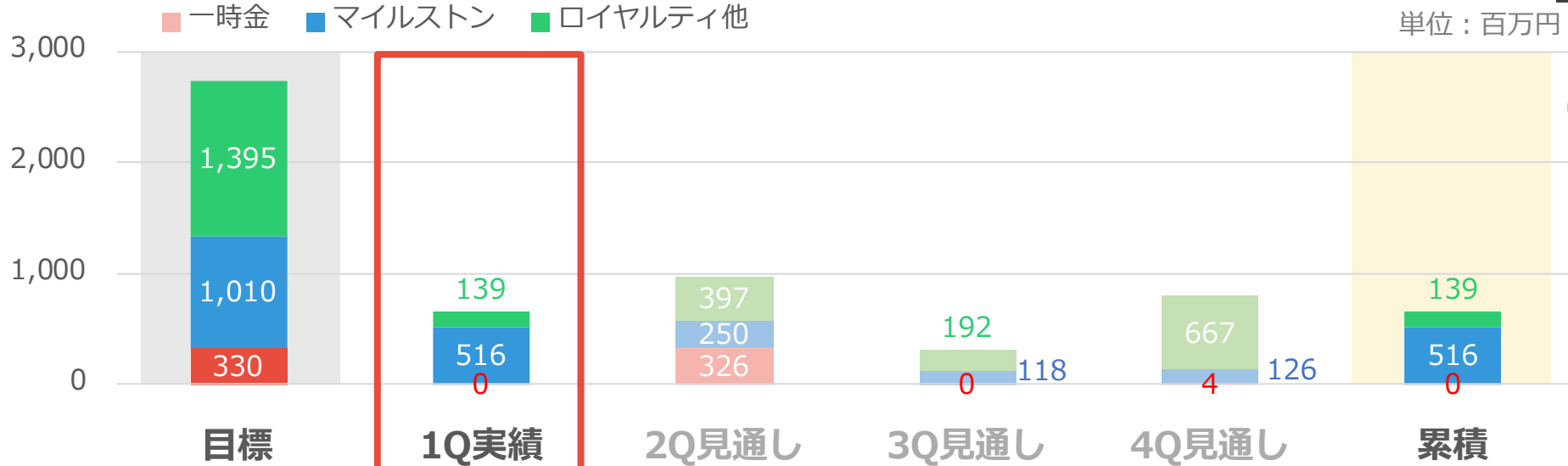


RaQualia  
innovators for life

# 事業収益概要

決算説明会

2021年12月期 第1四半期



達成率

23.9%

実績	1Q	旭化成ファーマ社及びマルホ社からマイルストーン受領し5億円計上 動物薬の販売ロイヤルティ等で1億円計上
	2Q	K-CABを軸に、販売ロイヤルティを4億円見込む その他、現在交渉中の新規案件による契約一時金を3億円見込む
見通し	3Q	動物薬の販売ロイヤルティ2億円を見込む
	4Q	K-CABを軸に、販売ロイヤルティを7億円見込む

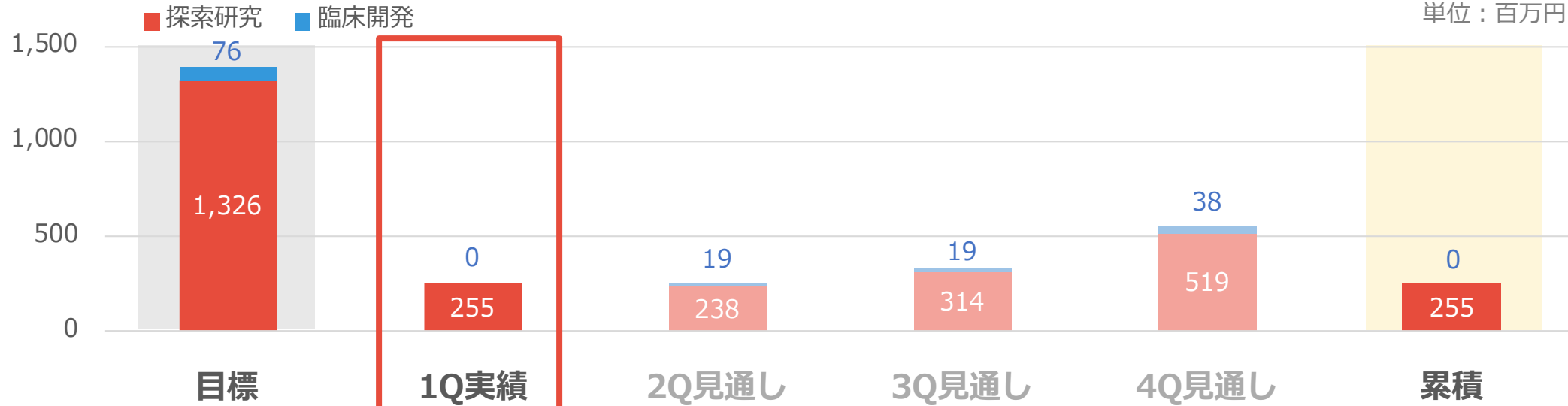


RaQualia  
innovators for life

# R&Dハイライト

2021年12月期 第1四半期

単位：百万円



実績

1Q

探索研究を軸に3億円を計上  
タミバロテンの膀胱癌に対する医師主導治験がAMED採択される

2Q

探索研究を軸に2億円を使用する見込み  
岐阜薬科大学との産学連携講座が開始

見通し

3Q

探索研究活動を軸に3億円を使用する見込み

4Q

探索研究活動のほか前臨床の費用があり、5億円強を使用する見込み





RaQualia  
innovators for life

# 導出済みプログラム（ヒト）

決算説明会

2021年12月期 第1四半期

プロジェクト名	導出先	主適応症	実施地域	臨床開発					承認申請	承認	販売
				探索	前臨床	P1	P2	P3			
ジプラシドン	Meiji Seika ファルマ(株)	統合失調症	日本					実施中			
			韓国	販売中（2019年3月上市）							
カリウムイオン競合型 アシッドブロッカー (P-CAB) K-CAB®	HK inno.N Corporation	胃食道逆流症	中国							審査中	
			米国			終了					
			中南米、イン ドネシア、ベ トナム、タイ						準備中		
EP4拮抗薬	(株)AskAt	疼痛	米国				前期終了				
			中国			終了					
		がん	米国			実施中					
			中国			実施中					
		変形性関節症 自己免疫疾患他	—		終了						



# 導出済みプログラム（ヒト）

プロジェクト名	導出先	主適応症	実施地域	臨床開発					承認申請	承認	販売
				探索	前臨床	P1	P2	P3			
5-HT4部分作動薬	(株)AskAt	アルツハイマー病	米国			終了					
COX-2阻害薬	(株)AskAt	疼痛	米国				2a終了				
			中国			実施中					
CB2作動薬	(株)AskAt	鎮痛等	—		実施中						
選択的ナトリウムチャンネル遮断薬	マルホ(株)	鎮痛・鎮痒	—	非開示							
P2X7受容体拮抗薬	旭化成ファーマ(株)/Eli Lilly and Company	神経障害性疼痛	—			終了					
特定のイオンチャンネル	EAファーマ(株)	消化器領域	—	非開示							



# 導出済みプログラム (ペット)

プロジェクト名	導出先	主適応症	実施地域	パイロット試験	ピボタル試験	承認申請	承認	販売
EP4拮抗薬 GALLIPRANT®	Elanco Animal Health Inc.	変形性関節症 (犬)	米国	販売中 (2017年1月上市)				
			欧州	販売中 (2019年3月上市)				
グレリン受容体作動薬 ENTYCE®	Elanco Animal Health Inc.	食欲不振 (犬)	米国	販売中 (2017年10月上市)				
グレリン受容体作動薬 ELURA™	Elanco Animal Health Inc.	慢性腎疾患の 体重減少管理 (猫)	米国	販売中 (2021年3月上市)				



プロジェクト名	導出先	主適応症	実施地域	臨床開発								
				探索	前臨床	P1	P2	P3	承認申請	承認	販売	
特定のタンパク質間相互作用	インタープロテイン(株)	疼痛	—	探索								
特定のイオンチャネル	あすか製薬(株)	非開示	—	探索								
創薬標的分子探索	(株) Epigeneron	特発性小児ネフローゼ症候群	—	探索								

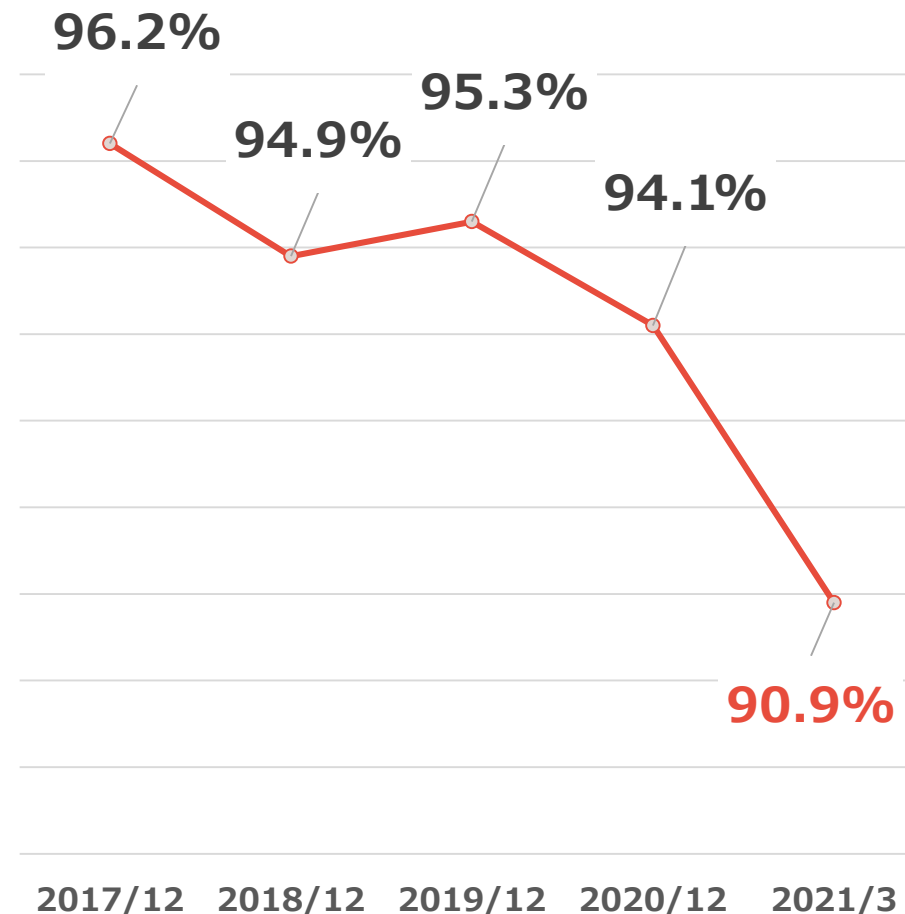


### 連結貸借対照表 (対前期比較)

単位:百万円

流動資産 <b>3,328</b> (+494)	<b>負債 409 (+169)</b>
固定資産 <b>1,300</b> (△117)	純資産 <b>4,219</b> (+208)

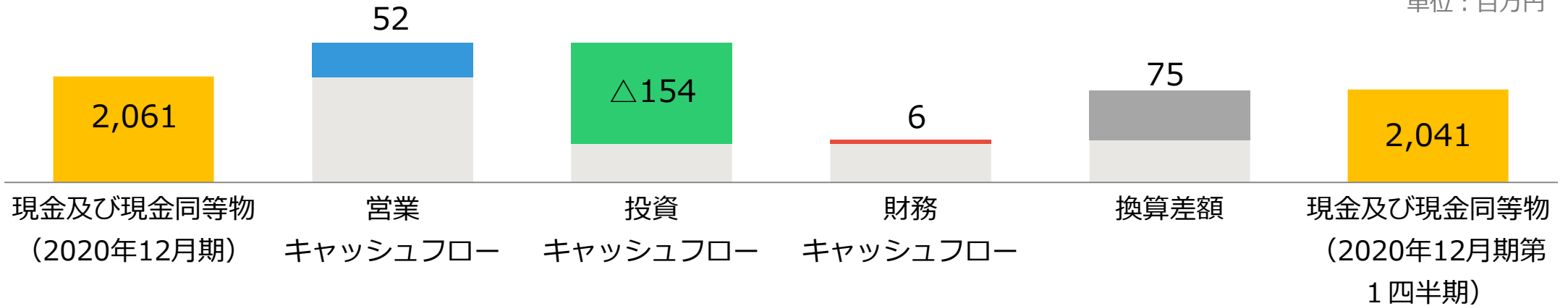
### 自己資本比率推移





2021年12月期 第1四半期

単位：百万円



### 営業

キャッシュフロー

主な増加要因：税金等調整前四半期純利益271百万円

主な減少要因：売上債権の増加99百万円、前払費用の増加199百万円、法人税等の支払額48百万円

### 投資

キャッシュフロー

主な増加要因：投資有価証券の売却による収入110百万円

主な減少要因：定期預金の預入支出207百万円、有形固定資産取得による支出53百万円

### 財務

キャッシュフロー

主な増加要因：短期借入による収入10百万円

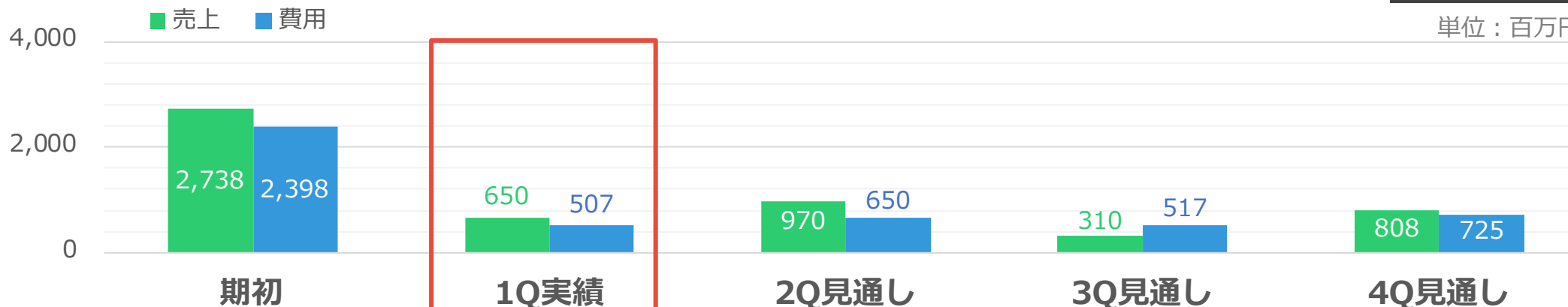
主な減少要因：リース債務の返済3百万円



# 今年度の見通し

2021年12月期 第1四半期

単位：百万円



### 売上

- 1 Qは、旭化成ファーマ社とマルホ社からのマイルストーンを軸に655百万円を計上
- 2 Qは、Syros社からのマイルストーン2百万ドルのほか、販売ロイヤルティを軸に973百万円を見込む
- 3 Qは、販売ロイヤルティを軸に310百万円を見込む
- 4 Qは、販売ロイヤルティを軸に797百万円を見込む

**以上の結果、通期で2,738百万円を見込む**

### 費用

- 1 Qは、事業原価41百万円、研究開発費用225百万円、その他販売費一般管理費209百万円を計上  
(増加要因：株主総会費用60百万円)
- 2 Qは、事業原価140百万円、研究開発費用257百万円、その他販売費一般管理費160百万円を見込む
- 3 Qは、事業原価48百万円、研究開発費用333百万円、その他販売費一般管理費135百万円を見込む
- 4 Qは、事業原価101百万円、研究開発費用557百万円、その他販売費一般管理費129百万円を見込む

**以上の結果、通期で2,398百万円を見込む**



### ■ 現状の事業費用に対する資金残高は十分に確保

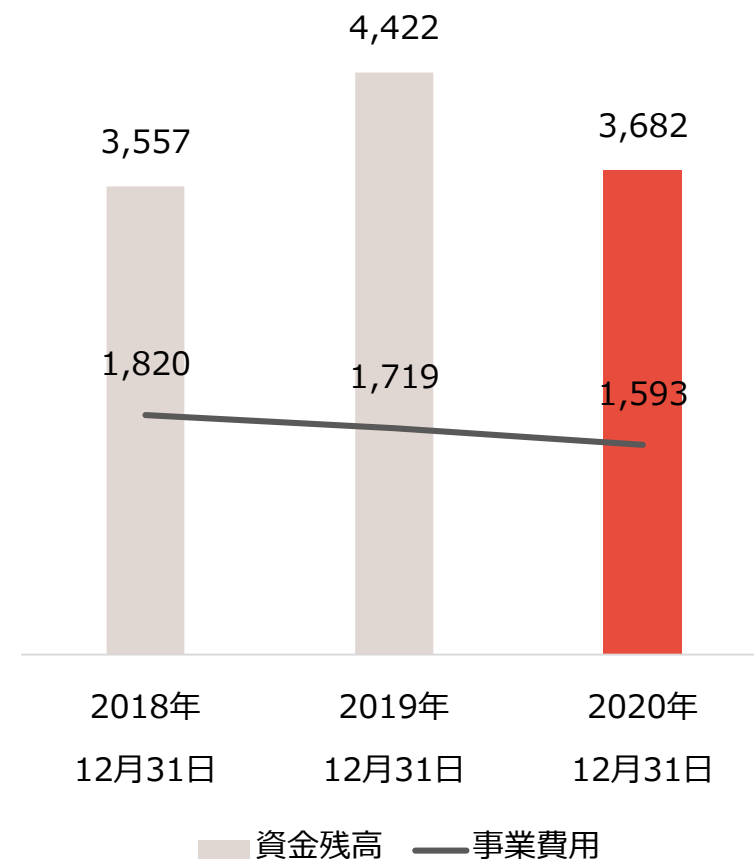
### ■ 今後の課題は、非連続な成長を達成するための戦略的選択肢を拡大するための資金調達

### ■ 新規中期経営計画と併せて下記を前提に検討中

- 時期 … 黒字化による時価総額の向上後
- 用途 … 臨床開発、設備投資、パイプライン導入等
- 備考 … パートナー候補企業との協議次第で上記の時期に拘らず調達を行う可能性があります

### 資金残高と事業費用

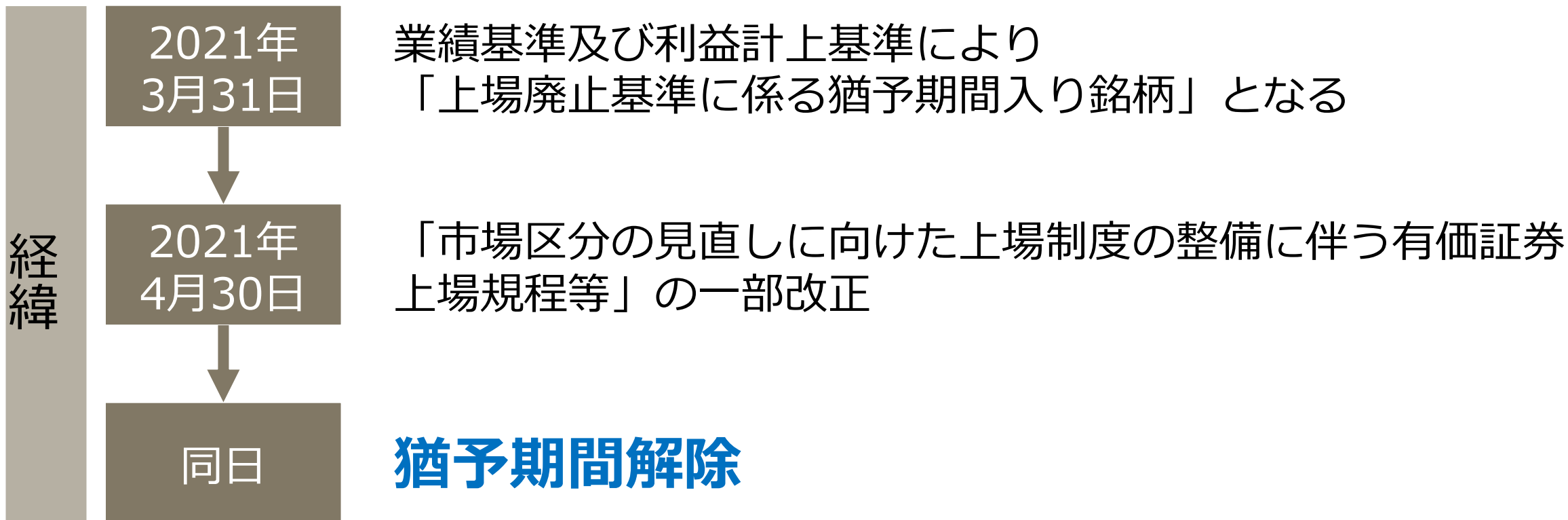
単位：百万円







## 当社株式の上場廃止基準に係る猶予期間は解除されました





## 株主総会関連

- |                |           |
|----------------|-----------|
| ■ 費用           | 60百万円     |
| ■ 退職者          | 2名（※予定者含） |
| ■ コンサルティング契約終了 | 4件        |

## その他

- |                         |           |
|-------------------------|-----------|
| ■ ラクオリア イノベーションズ株式会社の解散 | 2021年1月決議 |
| ■ 当社元監査等委員からの損害賠償請求     | 9.6百万円    |



**今年度は確度の高さを、  
次年度以降は将来の成長性を優先した計画をいたします**

公表予定

2021年6月30日

対象期間

2021年1月1日～2023年12月31日 3カ年

策定実行に向けた  
実施中の取り組み

- 1on1ミーティングの実施（株主提案公約）
- 臨床開発対象プロジェクトの選定
- 導出活動の強化
- 事業提携の模索
- 組織改編
- IR活動の強化
- 数値計画の策定



ご質問等ございましたら、  
画面下部のメールアドレスへお願いいたします。